

第3回 協力会社協働による作業所生産性向上策及び創意工夫策の応募要領について

作業所生産性向上委員会

● 目的・概要

作業所の生産性を向上させるには、協力会社との協働による作業所独自のアイデアをもとに具現化した取組みを情報収集し、会社全体に水平展開することが非常に有効です。

そこで引続き、第3回の優良な取組み情報の募集を開始します。応募要項は以下のとおりです。日頃の業務で実施してきた工夫改善が会社全体に広く浸透するよう、積極的な応募をお願いいたします。

===== 応募要項 =====

● 応募方法

○生産性向上策コース

・別紙の生産性向上策実施書を下記にもとづき、必ず協力会社と協働とし作業所単位で作成して下さい。

⇒当初の計画や従来のやり方から、協力会社との協働による工夫改善（省力化、省人化、ICT活用等）により、作業量や作業時間、費用等の削減（生産性向上）が実現した取組み

○創意工夫策コース

・別紙の創意工夫策実施書を下記にもとづき、必ず協力会社と協働とし作業所単位で作成して下さい。

⇒当初の計画や従来のやり方から、協力会社との協働による創意工夫により一定の効果（作業性向上、品質向上、安全性向上、環境面向上など）が実現した取組み

※なお、作業所単位での応募数には制限はありませんので、複数の応募が可能です。

※第1回及び第2回応募策の内容と類似（製品が同じ等）した応募に関しては、賞から除外の場合がございますので、以下の第1回及び第2回応募策をご確認ください。

・生産性向上策(第1・2回) : https://www.asanuma.co.jp/kyouryoku/documents/20200826_3k_1.pdf

・創意工夫策(第1・2回) : https://www.asanuma.co.jp/kyouryoku/documents/20200826_3k_2.pdf

応募先

対象作業所	所属	応募先
建築作業所	大阪本店管轄	大阪本店建築部品質管理室 森永照夫
	東京本店管轄	東京本店建築部品質管理室 鈴木 衛
土木作業所	西日本管轄	土木事業本部企画部 森山 保彦
	東日本管轄	土木事業本部企画部 栗栖 寛

● 問合せ：事務局までメールにてお願いいたします。

< 事務局：技術研究所 立松 e-mail: tatematsu-kazuhiko@asanuma.co.jp >

● 報奨金

各賞の名称	最大数量	報奨金(単位:円)	発表
社長賞(生産性向上策)	2編	200,000	○
優秀賞(生産性向上策)	2編	100,000	○
敢闘賞(生産性向上策)	4編	60,000	—
参加賞(生産性向上策)	42編	20,000	—
参加賞(創意工夫策)	50編	6,000	—

※社長賞及び優秀賞は表彰式典において、発表していただきます。

※報奨金は、作業所：協力会社＝50：50で配分します。

● 選考方法

○参加賞：応募いただいた生産性向上策実施書及び創意工夫策実施書を、作業所生産性向上ワーキングが審査し、最大100編を選定する。

◆生産性向上策コース(記入例)

生産性向上策 実施書	①タイトル(テーマ名)	
	梁型枠ユニット化による工期短縮	
②作業所名		③作業所職員名
○○△計画新築工事 TEL:080-1234-****		作業所 職員名: 浅沼二郎
④協力会社名および担当者名		
会社名: 山本建設(株) 担当者名: 山本一郎		職種 型枠工事
⑤問題点または従来のやり方		⑥改善案(協力会社との協働の経緯も含めた新しいやり方)
①CON打設翌日 : 2フロア下階の梁型枠解体 ↓ ②材料荷上 : 材料出し開口もしくはステージより 2フロア上階へ運搬 ↓ ③梁型枠組立 : 建込階CON床にて梁型枠組立 ↓ ④梁架け : 揚重機にて梁架け 【問題点】 ・材料上げに多人数を要する ・材料上げはかなりハードな作業 ・材料上げに約1日を要する(規模によるが) ・梁型枠を組立てる場所が建て込み階の為作業通路が とれない		躯体工事での工期短縮を検討していたところ、 山本建設(株)山本氏より、今回のような提案をいただいた。 現場で検証した結果、採用することにした。 【改善方法】 ①(左記より1フロア下階の)CON打設翌日 : 2フロア下階の梁型枠解体 ↓ ②梁型枠組立 : 解体フロアにてユニット組立 (梁型枠組以外このフロアでの 作業なし) ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ③梁架け : 揚重機にて梁架け (仮設材料出し開口より3フロア上階へ) 【効果】 ・建込み階で鉄筋工事へ移行した時の、型枠工事閉散期 に施工が可能 ・荷揚げ要員が不要、荷揚げ日が無し ・他業種全く居ないフロアで組み立てできる(安全通路も確保)
⑦実施後の実際の効果および比較		⑧効果金額
①梁型枠は3フロア分必要だが、超高層の場合6~7回使用で交換必要。2フロア分だと途中で入替があり加工の日程が工程をずれ込ます。3フロアだと交換必要なし。 ②サイクル工程が1日/フロア短縮できる。(在来: CON後5日目で床PC、改善: 4日目で床PC)→結果、19日の短縮 ③在来時の材料上げ時の危険箇所が無い ④人数を削減できる		・在来工法に比べ、4人/フロアの作業員削減 型枠大工1人工20,000として 20,000x4人x19フロア=1,520,000
⑨作業所長確認欄	作業所生産性向上ワーキング使用欄	
所長名: 浅沼太郎 確認日: 2018/04/26 ■応募可 □応募不可	受付日: 受付者: 参加賞 □採用 □不採用	

※1: ①~⑧すべての欄に記入し、⑨作業所長に提出して(作業所長から)事務局へ提出してください。
 ※2: 詳細説明資料を提出したい場合は、A4又はA3サイズで添付してください。

◆ 創意工夫策コース(記入例)

創意工夫策 実施書	①タイトル(テーマ名)	
	既存外壁アルミサッシ改修(撤去・新設)工事における持出しサッシ工法	
②作業所名		③作業所職員名
○○△病院改修工事 TEL: 080-1234-****		作業所 職員名: 浅沼二郎
④協力会社名および担当者名		
会社名: (株)▲△ 担当者名: 山本一郎		職種 建具工事
⑤問題点または従来のやり方		⑥創意工夫案(協力会社との協働の経緯も含めた新しいやり方)
○従来のやり方 * 今回の外壁サッシ改修工事は居ながら改修が前提 ①外壁から1.5m程度の片付け(施主業務に支障) ②外壁から1.5m程度の位置に仮設間仕切設置 ③壁・天井・カーテンボックス等撤去 ④既存サッシはつり撤去 ⑤新規サッシ・カーテンボックス取付 ⑥サッシ廻り口詰め ⑦ガラス取付 ⑧壁・天井ボード復旧 ⑨仮設間仕切撤去 ⑩クリーニング ⑪机・本棚等復旧		少しでも施主の業務への支障を減らせないか、作業を簡素化できないか、(株)▲△とサッシの形状・納まりについて相談、施工の方法を検討した。 ○新しいやり方 ①既存サッシ内側よりコンパネ養生 ②外部から既存サッシの障子のみ撤去 ③既存サッシの枠は残置したまま、新規サッシを持ち出した位置(外壁面)に取付 ④サッシ廻り口詰め ⑤ガラス取付け ⑥コンパネ養生撤去、ブラインド復旧 ⑦クリーニング
⑦実施後の効果等		
○効果 【工程】内装の撤去・復旧手間及び仮間仕切設置を省くことが出来、工期短縮。また施主の業務にも支障をきたす時間を最小限にすることが出来た。 【コスト】サッシについては、外額縁が必要な為、コスト増。内装については、解体・復旧、仮設間仕切等のコスト減。増減明細を提示し、施主に承諾いただいた。 【安全性】既存サッシを撤去する際のはつり作業の省略によって、粉塵・騒音を軽減できたので安全性は向上した。		
2020年4月1日		
⑧作業所長確認欄		作業所生産性向上ワーキング使用欄
所長名: 浅沼太郎 確認日: 2018/10/26 ■応募可 □応募不可	受付日: 受付者: 参加賞 □採用 □不採用	

※1: ①～⑦すべての欄に記入し、⑧作業所長に提出して(作業所長から)事務局へ提出してください。

※2: 詳細説明資料を提出したい場合は、A4又はA3サイズで添付してください。